



### 郷土料理の調理体験を切り口に地域の魅力を PR ～料理体験を通じた日本の魅力発信事業～

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 田村 佳利 (鳥取県派遣)、橋本 友彰 (愛媛県派遣)

#### 事業の概要

クレア北京事務所では、中国の方に日本各地の郷土料理の調理体験を通じて日本食への親しみやすさや身近さを感じていただくとともに、中国ではまだ知られていない日本の地域の魅力を知っていただくことで、日本への誘客促進につなげていく取り組みを 2017 年度から毎年行っています。本取り組みは、日本で料理教室を展開している株式会社 ABC Cooking Studio の中国法人と連携して、中国国内の 10 市（北京市、上海市、重慶市、陝西省西安市、河南省鄭州市、浙江省杭州市、四川省成都市、福建省アモイ市、広東省広州市・深セン市）にある同社の料理教室で実施しています。毎年多くの自治体から応募いただき、2020 年度までで 15 県、2 市の合

計 17 自治体に参画いただきました。

世界では新型コロナウイルス感染症のためイベント開催の禁止など行動制限を課す国が多い中、中国では「ゼロ・コロナ」政策を掲げ国内感染を抑えこみ、対面でのイベント開催が可能です。中国の方の日本食への関心や訪日意欲は依然として高く、渡航制限の解除を見据えると、地域の魅力を対面で PR することができる本取り組みは、意義深いものといえます。

#### 岩手県、宮城県の取組事例

2021 年度の第 1 回目は、複数の自治体が連携した初めての取り組みで、岩手県、宮城県の 2 自治体が連携して 10 月 16 日に四川省成都市で行いました。中国では東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による影



岩手県、宮城県の郷土料理を調理する参加者

響で、現在も岩手県・宮城県の両県を含む10都県からの農林水産物の輸入を停止しており、食文化体験などを通じた風評被害の払しょくと観光PRによるインバウンドの回復をねらい、協力しながらイベントを実施しました。

参加者は両県の職員による観光地や食文化のプレゼンテーションで理解を深めた後、岩手県の郷土料理の「花巻ごまドレッシングのせ棒棒鶏サラダ」「ざるそば」、宮城県の郷土料理の「さんまの塩焼き」「ずんだ餅」の計4品を調理しました。参加者からは「まるで岩手、宮城に行ったような気分になった。」「すぐにも行ってみた

い。」といった感想が寄せられるなど大変好評でした。

## 福井市の取組事例

2021年度の2回目は、福井市が「福井市・杭州市友好都市30周年記念行事」の1つとして位置づけ、福井県上海事務所の協力のもと、11月20日に浙江省杭州市で行いました。

イベントでは、福井県職員が福井県・福井市の観光地等を紹介したほか、福井市と杭州市の友好交流の歩みを紹介する動画が上映されました。杭州市外事弁公室の職員が公募で選考された参加者に交じり、福井市の郷土料



調理した郷土料理を思い思いに撮影する参加者たち



地元テレビ局からの取材に応じる福井県上海事務所長



イベントに参加する杭州市外事弁公室職員

理の「ソースカツ丼」「厚揚げの煮もの」「麩の辛し和え」「お米のブラマンジェ」の計4品の調理体験に挑戦するなど、杭州市との30周年記念行事に花を添えていました。調理体験後に行われた福井県と福井市に関するクイズ大会では、正解者に福井県の伝統工芸品の「越前漆器」

のお皿がプレゼントされ、会場は大いに賑わいをみせました。現地メディア3社が取材に訪れるなど、日中交流への関心の高さが伺われました。

今回のイベントは在中国日本国大使館との共催により、Key Opinion Leader（以下「KOL」という。）のライブ配信や、北京日本調理師会の協力を得て実施した初めての試みでもありました。中国で多くの日本関連イベントの司会を務めた実績のあるKOLが、福井県職員や北京日本調理師会の料理人と軽妙なトークを交わしながら、観光PRや郷土料理体験の様子など大使館の公式微博を通じてライブ配信しました。視聴数は30万以上を数え、多くの中国の方に向けて福井の魅力を発信することができました。



KOLによるライブ配信の様子

## おわりに

2021年度は合計5回の実施を予定しており、12月には鳥取県（広東省深セン市）、1月には香川県（上海市）、2月には愛知県（陝西省西安市）がイベントを行う予定です。クリア北京事務所では、引き続き関係機関と連携しながら、日本の地域の魅力を中国に発信するとともに、中国における地方自治体の活動を支援して参ります。



参加者全員での集合写真